



今月号のトップ面は常務取締役 海外統括本部 二宮 自 本部長 より記事を頂きました。

2026年がスタートし、今年度も残り2か月となりました。

年度末に向けて生産量は増加傾向にありますが、ピーク時と比較すると今年度は安定した生産量が続きました。現場では時間の余裕が生まれる一方で、「この状況をどう活かすか」が会社の将来を大きく左右します。建設機械業界は依然として先行きの不透明さを抱えており、コマツのグローバル生産量についても判断が難しい状況ですが、来年度も大きな増減はなく、今年度並みの生産量になると予想しています。引き続き、標準化、設備点検、治工具の見直し、作業手順の確認、そして教育訓練といった“本来やるべきこと”を地道に積み重ねられる貴重な期間ととらえ、来年度も活動の継続をお願いします。

品質については、ここ数年に発生させたインパクトの大きい不具合の影響がまだ続いています。

品質重点活動の総仕上げと、その後の定着に向けて会社全体で多くの議論と改善を積み重ねてきましたが、お客様の信頼を取り戻すには、引き続き時間と実績の積み重ねが必要です。

不具合件数という数字だけでなく、重大不具合の発生を確実に防ぐためにも、

「作業標準に従い、決めたことを確実に実行する」

「新機種立上げの作り込みと準備を確実に行う」ことの徹底をお願いします。

また、安全については昨年、仁大でも大きな休業災害が発生しており、危険予知の質をさらに高めていく必要があります。言うまでもなく、生産活動の基盤は「安全」であり、この土台が崩れれば品質も生産も成り立ちません。コマツからの情報展開も確実に活かしながら、

「ルールを守ること」「危険予知を徹底すること」を確実に実行してください。

今年はいよいよ新工場準備の最終段階となります。建屋の外観も形となり、実際のレイアウト検討も大詰めを迎えています。長らく構想してきた新たな生産体制が具体化しつつあり、いよいよ大京が再び大きく成長していくための準備段階に入りました。新工場に移ることは環境が良くなる一方で、現状の課題をそのまま持ち込んでしまう可能性もあります。新工場で大きな飛躍につなげるためにも、現工場で解決できる課題は、必ず現工場のうちに解決しておくようにお願いします。

2025年度も残り2か月です。新工場稼働を控えた今こそ、過去の反省を活かし、未来に胸を張ってつなげられる土台づくりが求められています。皆さんと共に、2026年度を新たな飛躍の年にできるよう引き続き安全・品質を最優先とした生産活動をお願いします。

大京株式会社 常務取締役 二宮 自



馳浩知事 ご高話

2月2日(月)全体朝礼におきまして、馳浩知事、宮橋勝栄市長が来社。
馳浩知事よりお話を聞かせていただきました。

～馳浩知事 ご高話より～

石川県は、二年前に発生した能登半島地震の復旧途上にあります。

加えて、トランプ関税の影響を受け、昨年は製造現場において在庫調整を余儀なくされるなど、厳しい経済環境が続いてきました。今年に入ってから、物価高騰や人件費の上昇が続き、賃金についても引き上げざるを得ない状況となっています。競争社会の中で製品価格も上昇し、その影響が巡り巡って下請け事業者の皆さまの経営を圧迫し、さらに人手不足という課題にも直面しています。こうした経済の循環を踏まえ、県としてもさまざまな対応策を検討しています。昨年からは、企業の資金繰りが行き詰まらないよう、融資制度の充実を図るため基金を積み増し、必要な融資に対応できる体制を整えてきました。また、人材確保の面では、二年前まで理系大学卒業者を対象に奨学金返還免除制度を実施していましたが、「文系・理系を問わず、意欲ある人材を採用したい」という現場の声を受け、現在は文理を問わず奨学金返還支援の面談制度を拡充しています。賃上げと人材確保、この二つの重要な課題について、経営者や働く皆さんの考えを踏まえながら対応を進めていきます。

小松地域についても触れたいと思います。小松空港周辺には未活用の土地があり、工業団地の整備も進められています。小松駅周辺と小松空港が南加賀地域の中核として発展を支えていることは事実です。ウレシヤス小松をご覧になり、街の変化を感じた方も多いのではないのでしょうか。今後は、小松駅と小松空港という二つの拠点を結び、人の交流がさらに活発になることが望まれます。週末にイオンだけが賑わうのではなく、空港周辺にも人の流れと賑わいを生み出すため、県としても取り組みを検討しています。具体的には、小松空港のターミナルビルを民間の知恵や資金を活用して建て替える計画です。さらに、築50～60年が経過した土木事務所、農林事務所、保健福祉センターを集約し、新しいターミナルビル内に複合施設として整備する構想を進めています。これにより、免許取得や各種行政手続きをワンストップで行えるようになり、人の集まりと賑わいの創出が期待されます。のと里山空港では、珠洲市・輪島市・穴水町・能登町の公立病院四施設を統合・再整備する構想も進んでいます。小松市についても、宮橋市長と連携し、さらなる発展につながる取り組みを進めていきたいと考えています。

最後に、物価高対策についてです。今年度は水道料金の基本料金について、標準家庭を対象に5月まで無償化を実施します。水道料金は市町の人口規模などによって基本料金の負担に大小はありますが、少しでも生活の安心につながるよう取り組みます。これは、地方振興を目的とした高市政権の「責任ある積極財政」に連動した重点支援地方交付金を活用するものです。日頃から、作業の効率化や新製品の開発、より良いサービス提供に努め、厳しい競争を勝ち抜こうと努力されている皆さまに改めて敬意を表します。石川県としても他の都道府県に負けないよう、そして今石川で暮らす皆さんが安心して生活できるよう、「幸福度日本一の石川県」を目指し、引き続き全力で取り組んでまいります。以上、報告とさせていただきます。





皆さん、日々の生産活動、お疲れ様です。
 今、中国では春節の雰囲気にお包まれ、街が活気に満ちています。
 春節は日本でいう正月にあたる、最も重要な祝祭期間です。
 旧暦に基づいて日付が決まるため毎年時期は異なりますが、
 1月下旬から2月中旬頃に始まります。
 春節は家族と過ごすことを何より大切にする文化的行事であり、
 中国全体が帰省する人で大移動となるため、
 駅や空港には非常に多くの人押し寄せ、移動がとても大変になります。
 今年は60年ぶりに「丙午」にあたり、特に“火の力”が強い年と考えられているそうです。
 具体的には、先延ばしにしていたことに着手して一気に進めたり、
 新しい挑戦や習慣づくりに取り組むことが良いとされています。
 また、馬は昔から力強さや前進の象徴とされ、
 目標に向かって進みたい時や勝負どころの祈願と相性が良いといわれています。
 まさに今年、新工場への移転を控えている DMS にとって、飛躍の一年となる予感がします。
 ただし、勢い任せではなく、冷静に判断し行動していくことを忘れずに進めてまいりたいと思います。
 DMS の新工場建設についてですが、去年は思うように工事が進まず、一時は工事が中断しておりました。
 しかし、昨年11月より工事が再開し、現時点では全体像が確認できるまで進んでおります。
 今年5月には工場が完成し、設備移管を進め、今年中の稼働を目指して計画を進めていきます。
 移転はゴールではなく、新しいスタートです。
 慣れない環境の中では、思い通りにいかない場面や想定外の課題も出てきます。
 だからこそ、社員一丸となって考え、行動し、安心して力を発揮できる職場をつくっていきたく思います。
 次の成長につながる節目とするために、「安全・品質・人づくり」を軸に、強い新工場を築いていきます！



大京機械(山東)有限公司 村井 一生



QC検定のお知らせ



【第41回 QC検定】

- 受検日時： 1級・・・2026年3月15日(日)
 - 2級・・・2026年3月15日(日)
 - 3級・・・2025年12月15日(月)～2026年3月15日(日)
 - 4級・・・2025年12月15日(月)～2026年3月15日(日)
- ※3級4級はCBT試験(コンピュータ上で行う試験)



日本規格協会 QC検定とは・・・
 品質管理に関する知識をどの
 程度持っているかを全国で
 筆記試験を行って客観的に
 評価を行うもの



2月度 品質・安全事前防止活動報告

品質・安全の事前防止活動の一環として、毎月全体朝礼時に重要不具合発見者を表彰しています。
 1月の受賞者をご紹介します。

・ワフユ ドウィ サプトラさん(塗装課) ・中川 和希さん(塗装課)

受賞者からのコメント

塗装課 ワフユ ドウィ サプトラさん

構成品の溶接クリップ異品を発見！
 よく見つけたので賞ありがとうございました。
 今後も、いつもと違うと感じたり、気になった場合は
 一呼吸置いて、職長に報告していきます。

塗装課 中川 和希さん

構成品パンチング表面にバリを発見！
 塗装作業中の発見で、自分の塗装不良ではと思いよく確認してみると
 自分の塗装不良ではなかったことが、一番良かったです。今後も、
 自分が携わった製品は、よく確認を行い、次工程へ流していきます。



| 2月カレンダー | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |

| 3月カレンダー | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | △ |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

△... 棚卸し

DKTより2名が帰任！！



角内 英樹

約1年7ヶ月にわたるタイ赴任を終え、このたび帰任することになりました。赴任当初はちょうどHM立ち上げの時期と重なり、部品手配や組立の業務に幅広く関わらせていただき、非常に貴重な経験を積むことができました。立ち上げの際には、皆さんに多くのサポートをいただき、本当にありがとうございました。

本来の目的であった生産管理システムの入替業務については、諸事情により予定通り進められないままの帰任となってしまいましたが、今後は日本側でDKT向けシステムの選定・企画を進め、導入につなげられるよう引き続き取り組んでいきます。タイで学んだことを活かしながら、これからの業務にも励んでいきますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



五十嵐 豊

この度6年4ヶ月のタイ駐在を終え、本社業務部へ帰任いたしました。赴任当初は現滋賀工場であるキャブテックのタイ工場(以下、CTT)での駐在となりました。第一のミッションはCTTをクローズさせ、DKTに生産を移管させるという非常に重要なプロジェクトでした。過去のタイ駐在の経験も活かし、なんとか任務を遂行することができました。その後はDKTへと駐在場所を変え、様々な生産設備の導入、新機種の立ち上げに従事しておりました。

長期にわたり、タイで働くことができたのは北村社長をはじめ、駐在期間を共に過ごした仲間たち、日本から技術支援で中長期的にタイに来てくれた皆さんのおかげだと思っております。タイでの経験を活かして、業務に励んで参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

